

試験ブループリント

Nutanix認定プロフェッショナル エンドユーザーコンピューティング (NCP-EUC) 6.10試験



目次

作成者	3
寄稿者	3
1. 試験	4
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジュールリングおよび受験	5
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験ポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	6
2. 対象者	6
3. NCP-EUC 6.10試験で対象となる目標	7
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セクション1 - エンドユーザーコンピューティング環境をデプロイする	7
セクション1 - エンドユーザーコンピューティング環境を監視する	11
セクション3 - EUCワークロードを管理する	12
セクション4 - EUC環境のトラブルシューティングをする	14
4. NCP-EUC 6.10トレーニングの推奨事項	18
4.1 コースの推奨事項	18
5. リソース	19
5.1 Nutanix Community Edition	19
5.2 テストドライブ	19
5.3 Nutanix Community	19
5.4 その他のエンドユーザーコンピューティング関連リソース	19

作成者

Jeff Hall マネージャー - 技術認定開発

寄稿者

Brandon Jackson ソリューションアーキテクトチームリーダー - Nutanix

Brian McLean スタッフコンサルタント

Bruce Heavner フィールドコンサルタントII

Chad Lucas アドバイザリーシステムエンジニア

Chris Nelson プリンシパルポートフォリオアーキテクト

Daniel Sullivan シニアテクニカルライター

Daniel Vasquez チャンネルシステムエンジニア

Drew Plaster シニアネットワークシステム管理者

Ed Keiper クラウドアーキテクト

Eric Stapleton シニアスタッフレジデントコンサルタント

Jarian Gibson シニアスタッフソリューションアーキテクト

Jim Corder Corder Enterprises International創設者

John Burton プリンシパルシステム信頼性エンジニア

Joseph Blake スタッフテクニカルカスタマーエクスペリエンスマネージャー

Kenneth Fingerlos グローバルプラクティスディレクター - サービス

Kim Mount テクニカルディレクター

Matthew Gauch シニアスタッフエスカレーションエンジニア

Paul Monroe スタッフエスカレーションエンジニア

Paul Murray EUCソリューションアーキテクト

Rickard Wendel スタッフカスタマーエクスペリエンスマネージャー

Stephen Edge プリンシパルコンサルタント

Tyler Pope スタッフエスカレーションエンジニア

免責事項：

Nutanix認定プロフェッショナル - エンドユーザーコンピューティング (NCP-EUC) 6.10試験ブループリントガイドは、NCP-EUC 6の認定資格を取得するために習得する必要がある目標について概要を説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-EUC 6認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、随時変更される可能性があります。

1. 試験

1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル - エンドユーザーコンピューティング（NCP-EUC）6.10試験は、Nutanixのテクノロジーを利用したエンドユーザコンピューティング環境のデプロイと、監視、管理、トラブルシューティング、および維持をする受験者の能力を評価します。これらのスキルと能力を習得していることを証明できます。

1.2 問題数

NCP-EUC 6.10試験は、75問の選択問題（単一回答、複数回答）で構成されています。

1.3 受験料

NCP-EUC 6.10試験の受験料は、199米ドルです。

1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式（換算方式の採点法）が用いられます。スコアのスケールは1000～6000です。スケールドスコア（換算スコア）は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア（換算スコア）で全員に公平なスコアを提示します。

1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Nutanixのテクノロジーを利用したエンドユーザコンピューティング環境のデプロイと、監視、管理、トラブルシューティング、および維持の業務に関わる特定タスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

1.6 言語

試験は英語と日本語で行われます。

1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

1.8 試験のスケジュールリングおよび受験

この試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されます。

対面の試験を選択する場合、お近くのテストセンターを選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しください。

1.9 認定トラック

NCP-EUC 6.10試験は、Nutanixエンドユーザーコンピューティングトラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-EUC 6の認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。再受験まで7日間の待機期間が設けられています。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、university.nutanix.com宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。試験教材を複製および再配布する、試験中に各種教材を使用する、試験問題を撮影しようと試みる、虚偽の身分証明書を使用して受験するといった行為が違反に該当します。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

1.12 再認定

Nutanix認定プロフェッショナル - エンドユーザーコンピューティング6.10試験に合格し、NCP-EUC 6認定資格を取得すると、資格は3年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) の Certification ショップへのアクセス
- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

2. 対象者

NCP-EUC 6.10試験およびNCP-EUC 6認定資格は、Nutanix環境におけるEUCテクノロジーの管理経験が約6ヶ月～12ヶ月あり、デスクトップと、仮想化、およびネットワークサポートの経験が18ヶ月～24ヶ月ある方を受験対象者として想定しています。

Nutanixエンドユーザコンピューティング環境のデプロイと、構成、および管理の経験を持つIT専門家が一般的な合格者です。

Nutanixエンドユーザコンピューティング管理（NEUCA）コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

3. NCP-EUC 6.10試験で対象となる目標

3.1 はじめに

受験者は、NCP-EUC 6.10試験を受ける前に、Nutanixのテクノロジーを利用した基本的なエンドユーザーコンピューティング環境のデプロイと、監視、管理、トラブルシューティング、および維持に必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験前に、[セクション4](#)に記載されているトレーニングコースを完了することも推奨されます。

NCP-EUC 6の認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- AOS : バージョン6.10
- Prism Central : バージョンpc2024.2

3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション1 - エンドユーザーコンピューティング環境をデプロイする

目標1.1 : デスクトップまたは公開アプリをユーザーに

割り当てる知識

- デスクトップをユーザーに割り当てるプロセスを説明する
- ナレッジワーカーにデスクトップを公開するために必要なリソースを判断する
- デスクトップをデプロイするためのプロビジョニング方法を判断する
- デスクトップとアプリを公開するために必要な要件を判断する

参考資料

- [Citrixのデスクトップおよびアプリケーションのデリバリーの概要](#)
- [CitrixソリューションのためのNutanix Flow Network Security](#)
- [セキュリティ設計に関する考慮事項](#)

- [OmniSSA Horizonの概要](#)
- [OmniSSA Horizonのデリバリーオプション](#)

目標1.2：最適なNutanix構成を判断する知識

- ワークロードのタイプに基づいて適切なストレージコンテナの構成を特定する
- シナリオを踏まえて、負荷とワークロードのサイジングを推定する
- ビジネス要件の遵守と総保有コスト（TCO）の最大化をするためにクラスタのパフォーマンスを最適化する
- シナリオを踏まえて、以下のNutanixのコアコンポーネントを使用するタイミングを特定する
 - Files
 - Smart DR
 - Shadow clones
 - Intelligent Operations
 - Flow（ネットワークのマイクロセグメンテーション）

参考資料

- [Nutanix FilesのVDI同期](#)
- [Citrixの仮想アプリケーションとデスクトップのセキュリティに関するベストプラクティス](#)
- [共有GPU](#)
- [Citrixのデスクトップデリバリーソリューション - Nutanixストレージ](#)
- [Citrixのデスクトップデリバリーソリューション - ハイパーバイザー](#)
- [HCIでのVDI実装](#)

目標1.3：ポリシーとグループポリシーオブジェクトを管理および

理解する知識

- 環境でGPO、ローカルポリシー、またはベンダーポリシーを使用するタイミングを区別する
- ポリシーがワークロードのタイプにどのように影響するかを説明する
 - セッションのタイムアウト、切断のタイムアウト、およびアプリのロックダウンを構成する

参考資料

- プロファイル管理とユーザーデータ
- OSの最適化
- Microsoftライセンスサーバーの冗長性
- 仮想マシンのアンチアフィニティ

目標1.4：ブローカーアーキテクチャを管理

する知識

- シナリオを踏まえて、ブローカーの機能について説明する
- ビジネス要件を踏まえて、ブローカーの場所を特定する

参考資料

- デスクトップとアプリケーションのブローカリング
- エンドユーザーコンピューティングのブローカーソフトウェアの高可用性要件
- コアインフラストラクチャの設計

目標1.5：イメージカタログを管理

する知識

- シナリオを踏まえて、イメージカタログを更新するプロセスを特定する
- シナリオを踏まえて、指定されたカタログのシステム要件を更新する
- シナリオを踏まえて、マシンカタログを更新する
- シナリオを踏まえて、ゴールドイメージを構築する
 - 永続 vs 非永続
 - デスクトップOS vs サーバーOS
 - プロビジョニング方法
- シナリオ/ユースケースを踏まえて、アプリケーションレイヤリングの影響を説明する
- ゴールドイメージを最適化することによるプラスとマイナスの影響について説明する

参考資料

- ベンチマークテストのための環境のセットアップ
- ベースイメージ

- プラグインのインストール後またはアップグレード後
- レイヤリングソリューション
- Nutanix AHV上のWindows 11

目標1.6：環境を保護する方法を判断する知識

- シナリオを踏まえて、セキュリティを強化するための手順を判断する
 - SSL証明書
 - クラスタのロックダウン
 - セキュリティ構成管理自動化（SCMA）フレームワーク
 - VLANベースのデータ駆動型セグメンテーション
 - 静止データ（DAR）暗号化
 - AHVのハードニング
 - コントローラVMのハードニング
 - セキュアブート（vTPM）
 - Nutanix Filesのハードニング
- シナリオを踏まえて、RBAC構成を実装する

参考資料

- SSL証明書の管理
- 監視モード
- CVMセキュリティのハードニング
- AHVセキュリティのハードニング
- クラスタアクセスの制御
- Prism Centralにおける転送中データの暗号化
- Prism Elementにおける転送中データの暗号化
- vTPMを使用したAHV VMの作成（aCLI）
- ユーザーアクセスの制御（RBAC）
- SCMAの実装
- Nutanix Controller VMにおけるRHEL 8 STIGの実装

セクション2 - エンドユーザーコンピューティング環境を監視する

目標2.1：インフラストラクチャの健全性を監視する知識

監視する知識

- アラート/イベントについて考えられる原因と対処方法を説明する
- デスクトップの接続障害について考えられる原因を説明する
- ログオンパフォーマンスに関する問題について考えられる原因を説明する

参考資料

- [プロファイル管理とユーザーデータ](#)
- [セキュリティロギング](#)
- [アラートの詳細](#)
- [一部のクラスタでCapacity Runwayの出力が表示されない](#)
- [データの局所性](#)
- [データ局所性によるパフォーマンスとスケーラビリティ](#)

目標2.2：レポートの作成と分析をする知識

- レポートの作成とエクスポートができる能力を示す
 - パフォーマンス
 - 容量
 - 使用状況
- レポート生成のための潜在的なコンポーネントについて説明する
 - ストレージコンテナ
 - ノード
 - VM
- 生成されたレポートを解釈する

参考資料

- [チャートの管理](#)
- [レポート設定の構成](#)
- [事前定義済みシステムレポート構成の管理](#)

- [CPU待機値の解釈](#)

セクション3 - EUCワークロードを管理する

目標3.1 : ワークロードのデプロイと管理を

する知識

- ビジネス要件を踏まえて、必要なワークロードのタイプを特定する
- シナリオを踏まえて、適切なプロビジョニングを説明する
 - 手順
 - 方法
 - Nutanixのベストプラクティス（ワークロードの最適化）
- シナリオを踏まえて、CitrixのAHVプラグインと、その機能、および各プラグインの要件について説明する

参考資料

- [VDIのデリバリー方法](#)
- [プロファイル管理とユーザーデータ](#)
- [Nutanixでのアプリレイヤリング](#)
- [プロビジョニングのベストプラクティス](#)
- [Nutanix AHVでのデリバリーソリューション](#)
- [Citrixマシン作成サービス：永続フルクローン](#)
- [CitrixのためのAHVプラグインのインストールまたはアップグレードおよび登録](#)
- [デスクトップデリバリーソリューション用のNutanixストレージ](#)

目標3.2 : アップグレード、更新、およびマイグレーション

を実行する知識

- デスクトップ（スタンダード/グラフィカル）グループの更新手順を説明する
 - パッチ適用（OSまたはアプリケーションのアップグレード）
 - アプリケーションの追加
 - ドライバとエージェント
- インフラストラクチャのエンドツーエンドアップグレードに推奨される順序を要約する

参考資料

- [NutanixのライフサイクルマネージャーとレプリカVM](#)
- [プール型または非永続型のMCSワークロードのマイグレーション](#)
- [VDIワークロードをESXiからAHVにマイグレーションする際の一般的な考慮事項](#)
- [vSphereを使用したNutanixを使ったIntelにおけるOmniStack Horizon](#)
- [ハードウェア - Nutanixクラスタにおける製品の混在制限](#)
- [AHV用のNVIDIA GRIDホストドライバ](#)

目標3.3 : EUCストレージを構成する知識

参考知識

- ストレージに対して可能なオプションを定義する
 - コンテナ
 - ポリシー
- ストレージを構成する際に必要な手順を特定する

参考資料

- [圧縮](#)
- [容量予約のベストプラクティス](#)
- [NutanixでのCitrixのコアコンポーネントに関するベストプラクティス](#)

目標3.4 : 環境内のDRオプションを評価する知識

- シナリオを踏まえて、可用性が高いプロファイルソリューションに推奨されるDRを判断する
- ビジネス要件を踏まえて、DRのために利用可能な複数のオプションを区別する
- 障害発生時に、構成に基づいて回復方法を判断する

参考資料

- [AWSのディザスタリカバリプランニングにおけるNutanixクラウドクラスタでのDesktop-as-a-service \(DaaS\)](#)
- [AzureのディザスタリカバリプランニングにおけるNutanixクラウドクラスタでのDesktop-as-a-service \(DaaS\)](#)
- [AHVにおけるOSレイヤーのインポートおよびアップデートのためのアプリレイヤリング操作](#)

- Nutanix FilesのVDI同期
- Smart DRによるデータ保護

セクション4 - EUC環境のトラブルシューティングをする

目標4.1 : EUCワークロードのパフォーマンスを分析する

知識

- シナリオを踏まえて、パフォーマンスをトラブルシューティングするための最適な方法を判断する
 - Prism Elementを使用したパフォーマンスの分析
 - Prism Centralを使用したパフォーマンスの分析
 - ワークロードのパフォーマンスの直接分析
 - ネットワークのパフォーマンスのキャプチャ
- シナリオを踏まえて、ワークロードがパフォーマンス要件を満たしているかどうかを評価する
 - ユーザープロファイル
 - デスクトップとアプリケーション
 - ストレージ
- シナリオを踏まえて、パフォーマンスを最適化するために必要なNutanixクラスタの設定について説明する
 - ストレージの最適化
 - ホット層のピンニング
 - リソースの割り当て
- シナリオを踏まえて、ワークロードのサイズが適切かどうかを評価する
 - 適切なCPU割り当て
 - 適切なメモリのサイジング
 - OSの最適化
 - GPUプロファイル
- ワークロードのパフォーマンスに関する問題の原因を評価する
 - クラスタCPU、ストレージ、メモリ使用率
 - ワークロードCPU、ストレージ、メモリ使用率
 - ネットワーク
 - クライアントの接続性

参考資料

- [ウイルススキャンとセキュリティエージェント](#)
- [FSLogix – Nutanix FilesのVDI同期テストの結果と結論](#)
- [行動学習ツール](#)
- [SuperFetchとPrefetchが有効なVDI環境におけるパフォーマンスの低下](#)
- [Nutanix上のデスクトップデリバリーソリューションのためのストレージに関するベストプラクティス](#)
- [ワークロード変換の一般的ガイダンス](#)
- [Nutanix上のデスクトップデリバリーソリューションのためのCPUサイジング](#)
- [ワークロードVMの構成](#)

目標4.2：ネットワーク構成のトラブルシューティング

をする知識

- ネットワークトラフィックのセグメンテーションをトラブルシューティングする
 - ストレージのトラフィック
 - ワークロードのトラフィック
- 既存のワークロードの帯域幅に関する問題のトラブルシューティングをする
 - ネットワークスイッチ/ブリッジ/インターフェースの追加
 - LACPの実装
 - 帯域幅の制限

参考資料

- [仮想スイッチの管理](#)
- [物理ネットワークングのベストプラクティス](#)
- [既存のRDMAクラスタにおけるバックプレーントラフィックの分離](#)
- [RDMAオーバーコンバージドイーサネット（RoCE）](#)
- [既存のAHVクラスタに追加する新しいノードの準備](#)
- [ボンドインターフェースのロードバランシング](#)
- [AHVホスト上のLACPの有効化、無効化、および検証](#)
- [AHVでbalance-slbロードバランシングを使用した際のマルチキャストトラフィックの停止](#)

目標4.3 : デスクトップのデプロイメント/登録の失敗を解決する知識

- シナリオを踏まえて、デプロイメント失敗の原因を判断する
 - ネットワークの問題
 - 認証の問題
 - ストレージ
- シナリオを踏まえて、登録失敗の原因を判断する
 - ネットワークの問題
 - エージェントの構成
 - ソフトウェア構成の誤り

参考資料

- [Windows 10および11の最適化](#)
- [Citrix Studioにおける既存のMCSカタログの作成時または更新時に発生する「JavaScriptSerializer」エラー](#)
- [マシンカタログの作成](#)
- [デフォルトのストレージポリシー](#)
- [Citrix PVSのためのNutanixのAHVプラグインに関するガイドライン](#)
- [Active Directoryのドメインバインドアカウントおよびドメイン参加アカウントの作成](#)

目標4.4 : GPU有効化デスクトップをトラブルシューティングする知識

- シナリオを踏まえて、GPU有効化ワークロードにGPU機能がない理由を特定する
 - クライアントのドライバ
 - ホストのドライバ
 - テンプレートVMの構成の誤り
 - NVIDIAのライセンス
- GPUが割り当てられたワークロードがNutanixクラスタに与える影響を評価する
 - 混合ノードタイプ
 - メンテナンス作業
 - GPUプロファイル

-
- シナリオを踏まえて、GPUのパフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングする方法を説明する

参考資料

- [GPUとvGPUのサポート](#)
- [NVIDIA GPUのトラブルシューティングツール](#)
- [ダウンロードしたパッケージを使用したNVIDIA GRIDドライバのインストール](#)
- [Nutanix上のNVIDIA vGPU](#)
- [Nutanixでのハイパーバイザーの実装](#)

4. NCP-EUC 6.10 トレーニングの推奨事項

4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを実施するコースを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、nutanix.com/trainingをご覧ください。

この包括的なコースでは、IT専門家がNutanixを利用したEUC環境の可能性を最大限に引き出すことができるように設計されています。このコースでは、CitrixやOmniStackのソリューションのいずれかをデプロイメントする場合でも、安全でスケーラブルかつ高性能な仮想デスクトップインフラをデプロイおよび管理するためのスキルを習得できます。

Nutanix®エンドユーザーコンピューティング管理 (NEUCA) コースでは以下のようなテーマを扱います：

- Nutanix上のEUC：EUCを最新化するメリットと、Nutanix上のCitrixおよびOmniStackのアーキテクチャを理解します。
- スマートなサイジングとプランニング：要件の評価方法と、最適なパフォーマンスを実現するためのEUCワークロードのサイジング方法を学びます。
- セキュリティファースト：セキュリティ構成管理自動化（SCMA）や、SSL証明書、クラスタのロックダウン、AHVおよびCVMのハードニング、ネットワークのセグメンテーション、暗号化など、Nutanixの堅牢なセキュリティ機能をマスターします。
- デプロイメントと最適化：ストレージの構成と、ゴールドイメージの作成、インフラストラクチャのアップグレードを確実に実行します。
- デスクトップのセキュリティとカスタマイズ：カテゴリと、ポリシー、およびVPCを使用したデスクトップの保護と、Nutanix Filesを使用したユーザープロファイルの管理およびアプリのレイヤリングを学びます。
- ディザスタリカバリ：Smart DRをデプロイし、EUC環境とファイル共有を保護します。
- 監視とトラブルシューティング：クラスタパフォーマンスの監視と、レポートの生成、AHVプラグインの使用、およびEUCの一般的な問題のトラブルシューティングを行います。

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

このコースで提供される内容は、NCP-EUC 6.10試験に出題される目標の大部分（約80%）をカバーしており、これらの目標をしっかりと理解したい場合に推奨されます。Nutanix環境に更に触れておくことが強く推奨されていることにご注意ください。

5. リソース

5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

5.4 その他のエンドユーザーコンピューティング関連リソース

その他のNutanixエンドユーザーコンピューティングに関する豊富なリソースは[こちら](#)からご覧いただけます。

NUTANIX

+1 (855) 688-2649 | certification@nutanix.com | www.nutanix.com

©2025 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc. の登録商標または商標です。本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。